

cross care NEWS

vol.1

CCD infomation

Cross Care Academia : CCA はじめました

これまで、誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト（ゼロプロ）の詳細な内容について、なかなかお伝えする機会がありませんでした。

そこで、Cross Care Academia（CCA）を立ち上げ、全国 100 施設以上でゼロプロを取り組んできた実際のデータをもとに、その詳細についてご紹介していきたいと思います。

まず、CCA のスタートとして、① 介護現場の誤嚥性肺炎の現状、② 介護者が行う週 2 回の介護のための口腔ケア、③ 介護の力で誤嚥性肺炎を減らした取り組み事例、④ 介護と医療で連携して誤嚥性肺炎を減らした取り組み事例の計 4 回で、ゼロプロの概要についてご説明していきたいと思います。

適切な口腔ケアを行うことで、目の前の命を、あなたの力で救うことができます。



CCAはこちらから
ご覧ください。

interview

私は、

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトのコアスタッフとして携わっています。初めてセミナーでお話を聞いたとき、これまで歯磨きの方法をちゃんと教わったことはなく、我流でしていたことに気がきました。口腔ケアをマスターしたら、誤嚥性肺炎のリスクを減らせることを知りました。でも私ひとりが頑張っても、他の職員は「やらされている感」を抱いてしまうだけなので、同じ温度感で取り組むには全員が同じくらいのスキルを身につけるのが理想なのですが、なかなか難しいですね。介護の現場に浸透させるには、「継続して伝え続ける」ことが大切だと感じています。

私は、「努力」と「信頼」に重きを置いて、日々の業務をおこなっています。まずは、基本に忠実に取り組む「努力」をします。そのなかで見えてきた改善点を提案するには、「信頼」が必要です。信頼を得るためには、結果を出さなければならない。ゼロプロもその一つです。何かを変えるには、まず自分が変わらなければならないと思っているので、視野が狭くならないようにすることは忘れずにいたいですね。

「信頼」を得るために、
結果を出す「努力」をする



社会福祉法人 今山会
特別養護老人ホーム
みなかぜ

看護師

小宮 聡美さん

社会福祉法人 桜花会
ライフケアしかた
フロア長 新原 秀彦さん



家族が入所しても良いと
思えるようにできる限りのことを

「自分の家族が入所しても良いと思えるように」日々心がけています。特に今はコロナ禍で気を遣わなければならないことが多くあります。このような環境下でできることを考えた結果、実現したのがユニットでの「壁面づくり」です。一番最近だと、大きな桜の木を利用者の方々と職員で一緒につくりました。桃色の折り紙で小さな花をたくさん作って、木の幹も少し立体的にしました。私の身長よりも大きいんですよ。外出が許されなくても、季節の移り変わりを感じる事ができたらいいなと思っているので、徐々に葉桜に変化させているところです。利用者の方が感動で涙を流していたり、他のユニットの方に自慢したりしている姿を目にすると、実施して良かったと心から思いますね。

この業界では常に人手不足が叫ばれていますが、それはこちら側の都合だと考えているので、利用者の方にはそれを感じさせないように意識しています。そうは言っても、人手不足なのは事実なので、口腔ケアを取り入れることにははじめは抵抗がありました。しかし軌道にのってくると、「利用者さんに寄り添うツール」となり、介護をする上でのスキルアップにもつながっています。



—編集後記—

はじめまして、制作部の川谷と申します。この会社に入社して初めての制作のお仕事がこのニューズペーパー制作でした。取材にご協力いただきありがとうございます。今後も2ヶ月に1回の発行を目指して頑張りますので、よろしく願いいたします。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

2021年6月

株式会社 クロスケアデンタル

編集担当：川谷 結衣

問い合わせ先：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp



CROSS CARE
DENTAL